

令和3年砺波市教育委員会第11回定例会議事録

1 開会及び閉会に関する事項

開催日時 令和3年11月25日(木) 午前10時23分～午前11時37分
開催場所 砺波市役所(東別館) 東別館会議室

2 教育長及び出席委員の氏名

白江 勉、林 克彦、小櫻 豊人、齋藤 正樹、信田 千春

3 会議に出席した者の氏名

構 富士雄(事務局長)、横山 昌彦(事務局次長(こども課長))、河合 実(教育総務課長)、三井 康司(生涯学習・スポーツ課長)、竹田 新(教育センター所長)、廣瀬 敬一(中学校長会長)、林 恵子(保育所・認定こども園・幼稚園長代表)、肥田 啓生(教育総務課主幹)、大浦 昭子(教育総務課庶務係主査)

4 会議に付した事項

(1) 前回議事録の承認

(2) 教育長報告

・事務局について(教育総務課、こども課、生涯学習・スポーツ課)

(3) 議事

ア 議決事項

・議案第23号・・・砺波市議会の議決を経るべき議案について

イ 報告事項等

・報告27・・・国指定重要有形民俗文化財「砺波の生活・生産用具」の保存活用委員会委員の委嘱について

・その他・・・教育関係機関所管事項について

(教育センター、小・中学校、保育所・認定こども園・幼稚園)

5 会議の要旨

教育長

令和3年砺波市教育委員会第11回定例会の開会を宣言する。
昨日、砺波市教育支援委員会が開催された。特別支援学級あるいは特別支援学校を判断する大事な会議であり、保護者と専門機関、在籍校、就学先の思いが一致し、子供たちにとって一番良い環境をそれぞれの視点からの結果になった。スムーズに進行したことからも各学校、またいろいろなところでうまくいっていることが多いと感じ、嬉しく思った。二つ目の話として、11/18学校訪問が終了した。この日NIE実践発表会もあり出町中学校、出町小学校を会場として授業が公開されていた。また最後の日、庄川中学校で学校訪問研修があり大変良い授業だった。「教育センターだより」に掲載されているが、事前の市教委訪問で庄川中学校の校長先生からこんなお話を聞いた。生徒たちが校長先生のところへ来て3ステップ運動を提

案した。授業をより良いものにしたいということで、その達成率が上がれば教室が発表しやすく、雰囲気良くなり、発表者も増え活発な授業になるのではないかというもの。3ステップの一つ目は、体を向けて目をつないで話を聞く、二つ目は発表者に対してうなずいたり短く拍手をしたりする、三つ目は友達の意見に対する自分の考えを持ちノートに書いたり発表したりするという内容とのこと。実際に学校訪問でそういったことが具現化されていたところが見られとても素晴らしいことだと思った。課題もあるが、小中学校訪問を終えて少しずつ良くなっている点もあり嬉しく思った。反面、働き方改革がなかなか進まず、教職員のストレス調査の結果を見たときに悪かった点は、先生たちが仕事量が多いと感じているところ、良かった点は職場の環境とか人間関係は良いと感じているところだった。これは全国平均より高く、さらに上司からのフォローがあるところが高い数値になっていた。今後、これらの課題を解決していきたい。

それでは、前回議事録の承認について諮る。

教育委員

異議なし。

教育長

第10回定例会から今日までの行事等報告を求める。

教育総務課長

<教育総務課所管分の事業について報告・説明>

こども課長

<こども課所管分の事業について報告・説明>

生涯学習・スポーツ課長

<生涯学習・スポーツ課所管分の事業及び図書館の事業について報告・説明>

教育長

ここまでで質問はあるか。

齋藤教育委員

次年度の入所希望についてどのような状況か。杉木に転入者が多いと聞いている。幼稚園についても聞く。

こども課長

来年度、4月～3月までの入所人数は固まった。まず民間を押さえ公立の順としている。杉木エリアには、公立の北部認定こども園、私立の出町青葉幼稚園があり、人口増に対してオーバーフローはしていない状況。個別の案件では、1歳児がいっぱいであるものの、保護者の考え方で、出町やあぶらでん保育園に行く方もおられる。般若幼稚園については5歳4人、4歳4人、3歳3人の11人で、新規は3歳児3人の予定。

教育長

議事に進む。

<議案第23号 砺波市議会の議決を経るべき議案について説明>

教育総務課長

<教育総務課所管分の事業について報告・説明>

こども課長

<こども課所管分の事業について報告・説明>

生涯学習・スポーツ課長

<生涯学習・スポーツ課所管分の事業について報告・説明>

教育長

ここで質問はあるか。

齋藤教育委員

新聞に掲載があった「新生児出産サポート事業」について、単年度の事業か。

こども課長

継続事業とし来年度以降も行っていく。資金は「となみっ子応援基金」という行政の基金をもとにしている。

事務局長	篤志家の思いは、今、自分は少子化対策にこれだけ寄附するけれども、広く賛同していただいたらその人も少子化対策という形で、基金を続けていくための寄附を求めたいという思いをもっておられる。2億円の原資は減っていくが、加えてくるものもあるという想定でこの事業は継続する。
教育長	ほかにあるか。
教育委員	質問なし。
教育長	可決された。
	次に、報告事項に移る。
生涯学習・スポーツ課長	<報告27号 国指定重要有形民俗文化財「砺波の生活・生産用具」の保存活用委員会委員の委嘱について説明>
教育長	ここで質問はあるか。
教育委員	質問なし。
教育長	次に、教育関係機関からの報告を求める。
教育センター所長	<教育センター所管事項について報告・説明>
中学校長会長	<小学校・中学校所管事項について報告・説明>
保育所・認定こども園・幼稚園代長	<保育所・認定こども園・幼稚園所管事項について報告・説明>
教育長	ここまでで質問はあるか。
小櫻教育委員	体力テストの結果が小中学校見事である。市長と語る会ではコロナ世代としてマイナスのイメージを持たれないようにしてほしいと言われたが、完璧と言っていいほどの結果である。もうひとつ、「教育センターだより」のICT活用について。今年为学校訪問でノートを写して電子黒板に表示して子供たちがお互いにそれを見る、いろいろな考え方を学ぶ授業を見せてもらった。そこで公開するタブレットには学級全員の子供の分が載るのか。また時間についても画面に残り時間が表示されるため、せかさされている感じがあり、障害のある子、時間感覚のない子もいるかもしれないので、どの子にとってもその教科の中でのびのびとでき、窮屈にならないように隠れ場的な工夫もあればありがたい。
齋藤教育委員	私も見ていたが、書いたものをタブレットで撮ってデータを送ってはじめて映る仕組みになっていた。送らないと映らない。
教育長	今のことについてどうか。
中学校長会長	試行ということもあり、やり方を考えていきたい。人権的なこと、特別支援的な視点はもう一度見直していきたい。画面が付いたままの状態だとそこに意識がいきまじ視覚情報が多いので、その点についてもより良い使い方を模索したい。
教育センター所長	遅い子にとっては、人を見てヒントになったり、あるいは、先生の立場になるが、その子のところに行って支援をするチャンスであったり、グループ内で送っていない人に教えてあげるきっかけにもなる。
中学校長会長	そこを含めて授業改革をしていく必要があると考えている。そのあたりの使い方に研修の余地があると思っている。

小櫻教育委員
齋藤教育委員
先生方同士で話し合っ、より良いものにしてほしい。
後半の授業ではタブレットにも慣れ、コロナ対策も分かってきた中、子供たちが意見を出し合いながら仲良さそうに、生き生きと活動している授業を見た。昔からみんなが大事にしてきた授業がとても懐かしく、今までやってきた授業を続けていくことも子供たちにとって大事だと感じた。

林教育委員
体力・運動能力調査の結果で、ソフトボール投げが上がっている。話は変わるが、学校訪問で昨年はコロナ禍により様々な対応をとっていた。今年はグループ活動も見られ、いいなと思っている。規制緩和について校長会で話し合ったりしているか。

中学校長会長
先日、市学校保健会で富山大学立石先生の話をお聴く機会があり、具体的な対応を示してもらい大変参考になった。それらのことを踏まえ、小中学校で相談しながら進めている状況です。

林教育委員
タブレットを使いたいじめが、ソフト上できるのか。現在のトラブル状況はどうか。また情報モラル研修会、子供たちへの指導をどうするのか聞く。

教育センター所長
ソフト上、制限できるものはしていきたいと考えている。例えば、オンライン会議をするソフトのチームズは、その中でグループを作りチャットができる。グループは先生しか作れず、その中には先生や管理職が入り、全て見れる状態にしてある。パスワードを、ソフトと一緒にしているものを別にしたりすることを考えている。今のところトラブルはない。今後、子供たちの技術が上がると追いつけっこになる可能性はある。情報モラルについては、小学校1年生から道徳の教科書にネット関係の教材が入っており、年に1回必ず勉強する機会はある。また、ネットトラブル防止教室など、機会があれば開催しており、今のところ増やすことは考えていない。

教育長
今年度は使いながら出てくる問題を共有し解決、次年度はそれに向けて持ち帰りも検討していく。愛知県で、痛ましい中学3年生の事件があった。いちばんに思うのは、校長会がしっかりネットワークを組み、たえず情報共有しながら自身の不安をなくすこと、次に担任や先生たちの見る力、気付く力を鍛えていかなければいけない。できるだけ児童生徒の心の負担を減らしていく。大人は、保護者を含めて、何らかの変化を感じ取り、しっかり見るということが一番大事だと思っている。今年度小中学校を見て、いいところや課題も見えてきたので視点をしっかり共有化し、若手もベテランもその視点で授業を見ていくということが児童生徒の成長につながっていく。

教育長
次にその他、意見交換に移る。

小櫻教育委員
先日「学校のあり方検討委員会」で、国吉義務教育学校を見てきた。大変良かった。今後も、教育委員としては進め方や在り方そのものについて、意見を聞いて記録に残していくのが大切だと思っている。

教育長
いろいろな情報をもらって考える材料にしていく。当市においては

今のところそこまでの少子化はない状態であり、時間が必要だと思っている。急ぐと混乱する。

教育長

それでは、次回の委員会の開催日を決めたい。

次回、令和3年第12回定例会を令和3年12月21日（火）午前10時30分から開催したい。

場所は、この東別館会議室で行うこととしたい。

教育委員

了承。

教育長

令和3年砺波市教育委員会第11回定例会の閉会を宣言する。